

霧島岑神社に風鈴のオブジェを制作

「小林を訪れるきっかけになってほしい」

「田んぼが広がる風景や山の近さが故郷の岐阜に似ていて、ホッとするまじだと感じました」。

小林市の印象をそう話すのは、株式会社ANA総合研究所研究員で、市の「シティセールスプロモーター」の外山玲奈さん。

客室乗務員としてさまざまな場所を訪れて地域ごとの魅力に触れ、その魅力を活かす地方創生に携わりたいと今年2月に着任。市内の生産者やお店を積極的に取材し、SNSで小林の

魅力を発信しています。

現在、外山さんは神話と食を結び付けて小林をPRしようと、「文化と食を繋ぐ観光ロードの会」の代表を務めています。

その活動の一環として、細野まちづくり協議会の協力を得て、縁結びに御利益があるといわれる霧島岑神社に風鈴のオブジェ「良縁のみち」を設置しました。「自分自身が訪れて写真を撮りたい、綺麗だなと思えるものを作りたかった」と外山さん。

「小林に住む人はもちろん、小林に来たことがない人が訪れるきっかけになってほしい」。

今後はウェブパンフレットの作成や看板を設置し、神話と縁結びをつなげたツアー開催も目指します。

これまで、主に小林の食の魅力を発信してきた外山さん。取材を重ねるうちに、食材だけでなく生産者の魅力にも気づいたと話します。

「こだわりを尋ねると生産者の皆さんは熱く語ってくださいいます。自分たちの作っているものに誇りを持っていて、言葉が胸に響きました」。

生産者の熱意や素晴らしさを発信することが、小林の良さを発信することにつながると確信した外山さん。これからも、ひとりでも多くの人に小林の魅力を伝えたいと意気込みます。

ANA 総合研究所から市地方創生課に出向中
シティセールスプロモーター
とやま れ な
外山 玲奈さん (34歳)

平成26年、全日本空輸株式会社に客室乗務員として入社。今年2月に株式会社ANA総合研究所に研究員として出向、現在はシティセールスプロモーターとして地方創生課に在籍し、フェイスブックやインスタグラムで小林市の魅力発信に取り組んでいる。趣味はカフェめぐり。



小林人
こばやしびと

Vol.105



▲取材した生産者やお店は30か所以上。ふるさと納税のPR業務にも従事しています